

新時代の学びを支えるICT活用推進事業

○ 1人1台端末及び校内通信ネットワーク環境の整備が完了（小・中・高）し、授業での活用がスタート

▲ ICT活用に係る学校・教員間格差が存在

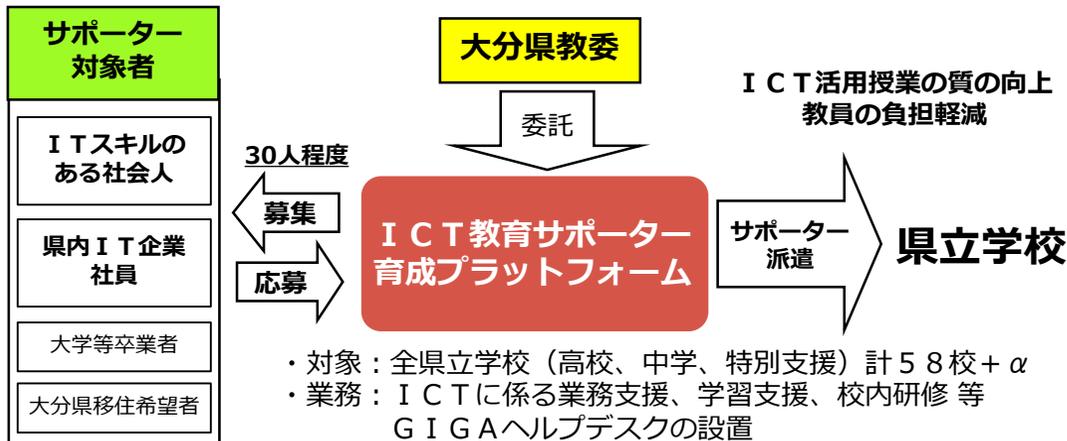
▲ 学校や家庭外での1人1台端末の活用環境が少ない（総合教育会議（R3.5.27）での委員意見）

国の動向

- ・ ICT業務に携わるスタッフを「情報通信技術活用支援員」と位置づけ
- ・ 成長戦略フォローアップ（R3.6.18）にて「高等学校でR6年度までにICTに精通した人材の1校1名以上の登用を目指す」
- ・ 様々な場面で1人1台端末の活用した学習ができるよう、図書館等の社会教育施設などでの学習支援を検討することを各自治体あて通知(R3.3.12付)

1. ICT教育サポーター育成プラットフォーム

ICT及び学校現場に精通した人材を確保・育成し、学校へ派遣



2. ICT活用優良授業チャレンジ

ICTを活用した授業の好事例を収集し、教員へ情報発信

教員用ポータルサイトの新設

優良事例を体系的に整理し、検索機能を付加

＜委託業務内容＞

(1) ポータルサイト企画・構築

(2) サイトの保守運営業務

①収集事例を公開するサイトの運営、更新

②収集事例の整理、特集コンテンツ作成

※「いいね」機能を追加

教員が優良事例を授業改善に活用（ICT活用指導力の向上）

3. その他のGIGAスクール構想推進に向けた取組

○ 1人1台端末の次期更新に備え、BYOD（私的デバイス活用）の調査・研究 先行自治体調査、各種端末での検証

○ ICT教育支援アドバイザー（継続） 最新の情報通信技術の動向と教育分野への活用について講義・実習

○ 1人1台端末の維持管理 浸水、落下等による端末故障時の修繕料等